

## 研究実施のお知らせ

旭中央病院 PET 画像診断センターでは、半導体装置を用いた FDG-PET/CT 検査で高頻度に認識される副腎への生理的集積について、その見られる頻度と程度を検討する下記臨床研究を行っています。この研究では、2018 年 9 月 1 日から 2019 年 8 月 31 日までの期間において、当院で FDG-PET/CT 検査を受けた被検者さんの診療情報を使用させていただきます。PET/CT 検査を受けた方は全員が対象となる研究ですが、ご自身の診療情報が当該研究に用いられることについてご了承いただけない場合は解析対象としませんので、下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも受検者さんに不利益が生じることはありません。

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

研究課題名	半導体装置を用いた FDG-PET/CT における副腎の生理的集積の研究
研究代表者	PET 画像診断センター長 鳥井原 彰
研究期間	当院倫理審査委員会承認日 ～ 2023年 3月 31日
研究の対象	以下に該当する方を研究対象とします。
	以下の期間において当院で FDG-PET/CT 検査を受けた方。 疾患名、診療科名は問いません。
	対象受診期間：2018 年 9 月 1 日 ～ 2019 年 8 月 31 日
研究に用いる 試料・情報の種類	<input type="checkbox"/> 試料等 <input checked="" type="checkbox"/> カルテ情報 <input type="checkbox"/> アンケート <input checked="" type="checkbox"/> その他 (FDG-PET/CT 画像)
研究目的・意義	FDG-PET/CT 検査の評価において、病変ではないのに薬が集まる臓器の「生理的集積」を熟知することは必須です。半導体装置を用いた FDG-PET/CT では副腎の生理的集積が見られる頻度が従来の装置に比して高いことが経験的に分かってきました。生理的集積の頻度が高いことを知らなければ、これから新たに半導体 PET/CT の画像を評価することになる核医学医は副腎集積を病的所見と誤認し、不要な精査などを推奨してしまうおそれがあります。このような副腎の集積がどれくらいの頻度、程度で認識されるのかを把握することで、不適切な判断や精査を防止することができると思われます。
研究の方法	この研究は過去に実施された FDG-PET/CT 検査を振り返って評価、解析するものであり、研究のために被検者さんに新たに何かしていただくことはありません。FDG-PET/CT の画像上で副腎の集積が見られるかどうかを症例ごとに判定し、生理的集積が見られる割合を算出します。集積が見られた症例については、SUV という集積程度を表す客観的な指標も計測し、集積の正常範囲はどれくらいなのかを把握します。
個人情報の取扱い	研究で発生したデータ類は PET 画像診断センター内の施錠可能な場所に保管し、外部への持ち出しは行いません。病院長に研究終了を報告してから 5 年間経過したのち、適切に破棄いたします。

	<p>解析は匿名化したうえで実施し、本研究参加者やその家族に危険や不利益が及ぶ可能性はありません。被検者さんから得られたデータは集積して、医学教育、医学研究発表、医学論文にて公表する予定ですが、個人が特定されることはなく、プライバシーは保護されます。</p> <p>今回収集する情報は、日常診療で実施されたデータを用いる観察研究です。匿名化（特定の個人を識別可）したうえでデータを収集し、解析をおこなうため、新たに同意の取得は行いません。なお、本研究に関してはホームページに掲示することで周知を行います。本研究への質問や参加拒否をされる方は下記に連絡下さい。参加を拒否された場合でも、不利益を被ることは一切ありません。</p>
<p>本研究に関する 連絡先</p>	<p>旭中央病院における研究責任者</p> <p>PET 画像診断センター      センター長：鳥井原 彰</p> <p>臨床研究支援センター</p> <p>[電話] （平日 8:30～17:15） 0479-63-8111（代表）</p>